

<p>構成委員</p>	<p>県民、がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院、 がん診療医療機関 平成23年度： 8名 平成24年度：10名 平成25年度：10名 平成26年度：12名 平成27年度：12名</p>
<p>平成27年度 の取組と成果</p>	<p>○第2期がん対策推進計画中間評価まとめの検討 ○がん診療病院、がんリハビリテーションの情報収集に向け、調査項目の検討と調査の実施 ○化学療法の均てん化に向けて、がん診療連携拠点病院、支援病院間でのWebカンファレンスを実施 ○化学療法医療チーム研修会の開催 11月29日 参加7施設27名 ○放射線治療地域連携協議会の開催により、放射線治療地域連携について、病院間で必要な情報の共有（特に新規治療施設情報等） ○「奈良県のがん登録2012年」まとめ</p>
<p>残された 課題</p>	<p>○がん診療等についての県民への情報提供のあり方 ○がん登録データの活用 ○臨床への具体的関与方法の検討</p>
<p>平成28年度 計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期計画ための必要な調査の整理と追加 2. がん診療連携拠点病院・支援病院間の、化学療法に関する公開カンファレンス（Web会議）の定期開催 3. 化学療法医療チーム研修会の継続開催 4. 放射線治療地域連携協議会の継続と放射線治療水準向上への取り組み（体制整備への協力等） 5. 手術療法の実施体制、リハビリテーション等の実態把握の継続と評価方法の検討 6. がん診療等について情報提供のあり方の検討 7. がん患者に対する口腔ケア対策支援事業の継続実施 8. 「奈良県のがん登録2013年」まとめ及び情報利用及び提供のための審議会の立ち上げ

●緩和ケア部会

<p>構成委員</p>	<p>県民、がん診療連携拠点病院、在宅医 関係機関（薬剤師会、訪問看護ステーション協議会）</p> <p>平成23年度：12名 平成24年度：11名 平成25年度：11名 平成26年度：7名 平成27年度：7名</p>
<p>平成27年度 の取組と成果</p>	<p>○第2期がん対策推進計画中間評価まとめの検討</p> <p>○医療機関における緩和ケアのレベルアップに向けた取組 奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアチーム研修 10月25日 参加6施設23名</p> <p>○緩和ケアの普及啓発（県民公開講座） 奈良県立医科大学附属病院 2月28日 参加者 99名 奈良県総合医療センター 2月13日 参加者250名</p> <p>○在宅緩和ケアに関する地域連携研修会の開催 がんに関する在宅緩和ケア研修会（県医師会と共催）の実施 2月14日 参加者44名（うち医師25名） 各がん診療連携拠点病院で、在宅緩和ケア地域連携研修の実施 在宅緩和ケア研修会の開催 奈良県立医科大学附属病院 12月13日 ワールドカフェ方式 参加者36名</p>
<p>残された 課題</p>	<p>○緩和ケア研修会（まほろばPEACE）の効果的な開催について検討</p> <p>○がん医療における緩和ケアに関する啓発の強化</p> <p>○がん診療連携拠点病院・支援病院における緩和ケアの質の向上</p>
<p>平成28年度 計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期計画のための調査の項目検討 2. 単位型緩和ケア研修会の実施（拠点病院の院長をはじめとするがんに関わる全ての医師の受講） 3. 「がんネットなら」での啓発 4. 拠点病院における県民公開講座及び多職種対象の研修の継続実施 5. 県医師会と連携した在宅緩和ケア研修会の継続実施

●地域連携・在宅医療部会

<p>構成委員</p>	<p>県民、がん診療連携拠点病院 地域連携担当、在宅医 関係機関（訪問看護師等、薬剤師会、保健所） 看護師（病院、診療所）</p> <p>平成23年度：14名 平成24年度：14名 平成25年度：14名 平成26年度：25名 平成27年度：25名</p>
<p>平成27年度 の取組と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○第2期がん対策推進計画中間評価のための患者体験調査・診療所調査の検討 ○地域連携・スムーズな在宅移行・在宅医療の推進について検討、グループワークの実施 ○第2期がん対策推進計画中間評価まとめの検討 ○がんに関する在宅緩和ケア研修会の内容についてグループワーク ○がんに関する在宅緩和ケア研修会の開催（県医師会共催） 2月14日 参加者：44名（うち医師25名） ○共有ツール運用促進のための検討、「がんネットなら」に掲載
<p>残された 課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域連携クリティカルパスの運用促進 ○共有ツールのスムーズな運用 ○医療連携推進のための退院後の生活を見越した医療ニーズのアセスメントや調整・支援、退院前カンファレンスの実施促進。 ○地域連携について、医療機関や診療所の状況把握 ○在宅医療を行う診療所の増加・連携促進、在宅ケアの医療資源の利用促進 ○がんネットならの周知、情報の更新
<p>平成28年度 計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期計画のための必要な調査項目の検討 2. 共有ツールの評価と運用促進 3. がんに関する在宅緩和ケア研修会の継続 4. がんネットならの周知、医療機関とのリンク、情報の更新

●相談支援・情報提供部会

<p>構成委員</p>	<p>県民、がん診療連携拠点病院相談員、薬剤師会、保健所 平成23年度：8名 平成24年度：7名 平成25年度：7名 平成26年度：6名 平成27年度：6名</p>
<p>平成27年度 の取組と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○第2期がん対策推進計画中間評価まとめの検討 ○県内医療機関でがん相談に携わる者を対象とした研修会の開催 奈良県がん診療連携拠点病院 相談支援分科会 9月26日 参加者24名 ○地域相談支援フォーラムin近畿の開催 がん診療連携協議会相談支援関連部会 1月23日 奈良県参加者13名 ○がん相談支援センター利用状況調査の実施項目の検討と実施 調査期間 2月1日から3月25日 ○「がん相談支援センター、患者サロン一覧」のチラシの作成と配布
<p>残された 課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○がん相談支援センターの普及・啓発の強化 ○患者サロンの活性化 ○がん専門相談員のレベルアップ ○がん治療に関する情報提供の強化
<p>平成28年度 計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期計画の必要な調査の検討 2. がん患者等への情報提供強化 3. 拠点病院等のサロン運営者会議の実施 4. がん相談支援従事者研修（奈良がん診療連携協議会 相談支援分科会主催）の継続開催 5. がん相談支援センターの啓発、相談体制のあり方について検討

●就労支援部会

<p>構成委員</p>	<p>県民、奈良労働局、公共職業安定所、社会保険労務士 企業（人事労務担当）、奈良産業保健総合支援センター がん診療連携拠点病院相談支援センター相談員</p> <p>平成26年度： 9名 平成27年度： 9名</p>
<p>平成27年度 の取組と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○第2期がん対策推進計画中間評価まとめの検討 ○全拠点病院で社会保険労務士による就労相談の開催 がん専門相談員と連携した相談体制で実施 平成27年度相談件数延べ36件 ○がん患者さんの就労相談関係者研修会 12月16日 ハローワーク職員、社会保険労務士等37名 ○がんと就労に関する研修会の開催 2月17日 産業医参加者：33名 ○相談支援センター就労相談を「奈良新聞」「県民だより」「がん ネットなら」に掲載 ○情報誌「なら労働時報」にがん関連記事を掲載 県内事業所1,200カ所に発行
<p>残された 課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○相談支援センター就労相談についての周知について ○事業所への啓発について ○就労支援関係者の連携方法について ○ハローワークとの連携について
<p>平成28年度 計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期計画のための必要な調査項目の検討 2. がん患者さんの就労相談関係者研修会の継続 3. 就労支援に関する情報提供の継続 4. 国との連携によるハローワーク相談員の就労相談の開始

●奈良県たばこ対策推進委員会

<p>構成委員</p>	<p>県民、学識経験者（奈良女子大学）、奈良県医師会、奈良県薬剤師会、奈良県歯科医師会</p> <p>平成24年：5名、平成25年：5名、平成26年：5名、平成27年：5名、平成28年：5名</p>
<p>平成26年度 の取組と成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソーシャルマーケティングの手法を用いた禁煙支援リーフレットの活用および効果検証 <ul style="list-style-type: none"> ・県内13市町村でリーフレットを活用。約3,900部配布。 ・同意が得られた、272名にリーフレット送付・効果検証 2. 未成年者禁煙支援相談（H27.4～H28.2） <ul style="list-style-type: none"> ・利用者10名（中学生2名、高校生8名） 3. 禁煙支援アドバイザー研修会（H27.8.24 於：ジヨギツグ & サクリツグ ステーション） <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：18名 4. COPD予防講演会（H27.12.5：広陵町、H27.11.14：安堵町の2回開催） <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 広陵町：34名、安堵町：59名 ・市町村既存事業で肺機能計測および禁煙勧奨 115名 5. 世界禁煙デーでの啓発キャンペーン <ul style="list-style-type: none"> ・県下の大型商業施設等で普及啓発キャンペーンを実施。 6. 市町村庁舎の禁煙実施状況調査と結果公表 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村本庁舎建物内禁煙実施 36市町村（H26.4）→37市町村（H27.4）と増加
<p>残された課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○禁煙支援リーフレットについて、市町村事業だけでなく、医療機関や薬局といった機関との連携した活用が必要 ○未成年者禁煙支援相談事業の事例が減少傾向。ひきつづき、学校への周知が必要。 ○COPDの認知度が低く、疾患の周知が必要
<p>平成27年度 計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年度事業の継続（世界禁煙デー等啓発イベント、禁煙支援アドバイザー研修会、市町村庁舎の禁煙状況調査・公表等） ○禁煙支援リーフレットを県内市町村や薬局等に波及 ○未成年者禁煙支援相談事業の継続実施 ○COPD対策事業を継続実施

●奈良県がん予防対策推進委員会（受診率向上部会）

<p>構成委員</p>	<p>県民、学識経験者、ボランティア、医師会、奈良県がん検診応援団、保険者、市町村</p> <p>平成24年度：9名 平成25年度：9名 平成26年度：9名 平成27年度：9名</p>
<p>平成27年度 の取組と成果</p>	<p>○「がん検診を受けよう！」奈良県民会議 総会の開催 イベントの開催（公開講演会「がんのひみつ」）参加者：約600名 普及啓発キャンペーン：啓発参加者：約90名 啓発物：1800セット</p> <p>○健康寿命を延長する取組推進モデル事業の実施。（9市町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天理市：大腸がん検診の個別受診勧奨と5がん検診の効果的な受診勧奨 ・五條市：胃がん、乳がん検診の個別受診勧奨及び未受診者への再勧奨 ・川西町：子宮がん検診個別受診勧奨・再勧奨事業 ・王寺町：肺がん検診個別受診勧奨・再勧奨 ・桜井市：胃がん検診の個別受診勧奨及び未受診者への再勧奨 ・御所市：胃がん検診個別受診勧奨・再勧奨事業 ・葛城市：胃がん検診個別受診勧奨・再勧奨 ・広陵町：肺がん検診個別受診勧奨・再勧奨事業 ・下市町：胃がん、肺がん検診個別受診勧奨・再勧奨 <p>○がん予防推進員養成講座及びがん予防推進員フォローアップ研修会を開催（保健所）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成講座：三郷町、高取町で計32名が養成講座終了証を取得。 ・フォローアップ研修会：天理市、宇陀市、香芝市、下市町で計160名が参加。 <p>○子宮頸がん予防に関する普及啓発事業 子宮頸がん検診リーフレット配布（H28年3月予定） 配布先：県民会議会員及び各保健所に4,000枚</p> <p>○奈良県がん検診受診促進企業連携事業</p> <p>*市町村が実施するがん検診受診率（H25年度→26年度） 胃（6.5→6.6%）、肺（7.6→7.9%）、大腸（19.0→19.8%）、子宮頸（20.0→21.1%）、乳（19.7→20.8%）</p>
<p>残された 課題</p>	<p>○平成29年度までにがん検診受診率50%を達成するため、受診率向上に向けた新たな市町村支援策の検討</p>
<p>平成28年度 計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「がん検診を受けよう！」奈良県民会議の開催 2. がん予防推進員養成講座及びがん予防推進員フォローアップ研修会（各保健所で実施） 3. がん検診の受診勧奨・再勧奨支援事業 個別受診勧奨・再勧奨事業の取組を県下全市町村に拡大。市町村の取組を支援するため、市町村に対して人的・財政的支援を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・人的支援：モデル事業と同様に、県と市町村がともに連携・協働して事業を実施。 ・財政的支援：新たな補助制度（がん検診の受診勧奨・再勧奨支援事業補助金）を創設。 4. がん予防に関する普及啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・がん予防に関する普及啓発及リーフレットを市町村、医療機関において、検診を勧めるための資料として配布 ・イベント等で受診啓発資料として配布

●奈良県がん予防対策推進委員会（精度管理部会）

<p>構成委員</p>	<p>専門医、医師会、検診機関、市町村、保健所</p> <p>平成24年度：10名 平成25年度：10名 平成26年度：11名 平成27年度：12名</p>
<p>平成27年度の取組と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村がん検診登録精密医療機関現況調査 未回答及び基準を満たさない医療機関を登録削除 ○市町村がん検診精度管理調査の実施及び評価 国立がん研究センターとの共同で精度管理の新チェックリストで実施。県で新調査の評価基準を決定する。 ○市町村がん検診事業評価の実施及び結果に基づく指導 各市町村のがん検診プロセス指標値及び精度管理調査を基に評価 ○がん検診従事者研修会実施 対象：医師、放射線技師、市町村担当者 胃がん（4回）、肺がん（1回）、大腸がん（2回）、乳がん（1回） ○精度管理研修会1回 ○乳がん検診実施要領の改訂（H28.4.1～） 国の指針の改正に伴い 奈良県乳がん検診実施要領を改正 ○ピロリ菌リーフレット配布（市町村）
<p>残された課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村がん検診登録精密医療機関の更新制度の導入の検討 ○市町村がん検診登録精密医療機関の登録基準の見直し ○がん検診事業評価の結果に基づく市町村・検診機関への指導 <ul style="list-style-type: none"> ・大腸がん検診委託機関へ要精検率を7%以下にするように指導 ・がん検診プロセス指標値が国の許容値を満たさない市町村への指導 ○検診機関別のプロセス指標値の把握 ○がん検診従事者研修会の充実及び参加者の固定化への対応 ○胃内視鏡検診及び胃X線検査の新カテゴリーの導入に向けて奈良県胃がん検診実施要領の改正及び関係機関への周知 ○新チェックリスト項目遵守に向けての指導
<p>平成28年度計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市町村がん検診精密医療機関登録及び現況調査の実施 2. 市町村がん検診指標値の検診機関別集計 3. 市町村がん検診精度管理調査の実施 4. がん検診従事者研修会の実施 5. （新）胃内視鏡検診研修会の実施 6. （新）奈良県胃がん検診実施要領の改正のための胃がん検診実施要領検討ワーキング会議開催 7. （新）胃がん検診実施要領改正に関する説明会の開催

●がんの教育部会（がんの教育推進会議）

<p>構成委員</p>	<p>平成24・25年度は、庁内各関係担当課のみで構成 平成26・27年度は、下記の委員で構成 H26：奈良県教育委員会学校保健技師(医師)、奈良県健康教育研究会会長、奈良県町村教育委員会代表、奈良県中学校校長代表、各関係担当課課長 H27：奈良県教育委員会学校保健技師(医師)、専門医、医師会代表、奈良県中・高等学校校長会代表、中学校保健体育研究会代表、高等学校等保健体育学会代表、各関係担当課課長</p>
<p>平成27年度 の取組と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●中間評価に向けて、評価方法、目標値の検討 【がんの教育総合支援事業の実施】 ○推進会議 <ul style="list-style-type: none"> ・がんの教育推進に向けた計画と評価方法の検討 ・がんの教育の関する計画の検証 ○教材作成ワーキング <ul style="list-style-type: none"> ・がんの教育に関する教材（高校生対象リーフレット）の作成 ・リーフレットを活用した指導案の作成 ○教職員に対する講演会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 9月3日（木）かしはら万葉ホール <ul style="list-style-type: none"> ・「がんの教育を進めるにあたって」 奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座教授 長谷川 正俊 氏 ・実践発表「がんの教育」の取組を通して 河合町立河合第二中学校 教諭 石田 純也 氏 ○モデル校による授業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・県立大淀高等学校（11月19日） ・県立奈良情報商業高等学校（11月20日）
<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●がんの教育について、評価方法と目標値の設定 ○高等学校を対象とした教材及び指導案等、指導内容の適正について ○「がんの教育」実施校の拡大 ○教職員への「がんの教育」普及啓発
<p>平成28年度 計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> 【がんの教育総合支援事業の継続実施（予定）】 ○「がんの教育」研修会の実施（高等学校教職員対象） <ul style="list-style-type: none"> ・授業実施に向けての研修会及び教材等の配布 （パワーポイント資料・補助教材等） ○ワーキング（有識者の監修） <ul style="list-style-type: none"> ・中学校...授業の展開についての検討 公開授業の実施 実践状況の把握 ・高等学校...がんの教育の進め方（指導案・補助教材資料）の作成 ○推進会議 <ul style="list-style-type: none"> ・がんの教育推進に向けた計画と評価方法の検討 ・がんの教育の関する計画の検証 ○実践発表（中・高等学校）及び講演会の開催（中・高等学校教職員対象）